

第2節 社会

第1 本資料の活用について

1 作成の基本的な考え方

- (1) 小学校学習指導要領、小学校学習指導要領解説（社会編）及び埼玉県小学校教育課程編成要領を踏まえ、学習指導・評価計画を作成する際の参考となるよう、社会科における指導計画の作成から学習評価の考え方、実際までを系統的かつ具体的に取り上げて作成した。
- (2) 教育課程を軸に学校教育の改善・充実の好循環を生み出すことをねらい、「学校教育目標の実現をねらった教育課程の編成、適切な実施・評価、必要に応じた改善」の一連のサイクル（カリキュラム・マネジメント）を具体的に示している。

2 取り上げた内容

第1 本資料の活用について

第2 社会科における学習指導と評価

- 1 育成を目指す資質・能力の三つの柱について
- 2 「社会的な見方・考え方（社会的事象の見方・考え方）」を働かせる指導のポイントについて
※ 小学校社会科の各学年の目標においては、「社会的事象の見方・考え方」と表記しているため、本資料でも、以下同様に示すこととする。
- 3 社会科における「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善について
- 4 新学習指導要領における内容の整理・改善・充実と留意点について
- 5 評価の改善点について
- 6 「主体的に学習に取り組む態度」の評価について
- 7 観点別学習状況の評価の観点について

第3 指導と評価の計画及び改善

- 1 単元計画の作成と評価及び改善の考え方
- 2 本時の学習指導と評価及び改善の考え方
- 3 単元計画及び本時の指導と評価、授業改善例
- 4 指導と評価の実際（各学年の実践事例）

第4 社会科における学習評価の評定への総括例

- 1 観点ごとの総括の方法例
- 2 単元における観点ごとの評価の総括例
- 3 学期末及び学年末における観点ごとの評価の総括例

3 本資料の活用にあたって配慮すること

- (1) 社会的事象の見方・考え方を働かせること ※ 編P48等参考
- (2) 指導計画作成にあたっての留意すべき事項を参考にすること ※ 編P48等参考
- (3) 学習評価を行うに当たり以下の事項に留意すること
ア 単元のまとまりを意識して、指導計画に即した学習評価を行う。
イ 1単位時間ごとの目標を明確にし、具体的な児童の姿や表現内容を想定し、学習評価を行う。
ウ 学校・家庭・地域の実態に合わせた指導計画を基に、問題解決的な学習等を展開する中で学習評価を行う。

4 学力・学習状況調査等の活用

全国学力・学習状況調査（平成30、31年度調査）では、「複数の資料を扱ったり、目的や意図を捉えたりすること」や「根拠を明確にして自分の考えをまとめること」といった課題が明らかになっている。そこで、社会科の授業においては、①「複数の資料を理解・評価しながら読む力を高める取組」、②「資料等に基づいて自分の考えを書く力を高める取組」、③「様々な文章や資料を読む機会を設定し、自分の意見を述べる力を高める取組」を充実させることが大切である。本資料では、本時の指導例や各学年の実践事例で取り上げている。

指導計画作成の留意事項

編成要領（編P48・49）で示された「指導計画作成に当たっての留意すべき事項」との関連についても本資料で示している。

- (1) 「特別な配慮を必要とするなど課題を抱えた児童への指導」の視点
- (2) 「主体的・対話的で深い学び」の視点
- (3) 「教科等横断的」な視点
- (4) 「社会に開かれた教育課程」の視点
- (5) 「道徳教育の充実」の視点
- (6) 「教科用図書『地図』（地図帳）の活用」の視点
- (7) 「地域の素材の教材化」の視点
- (8) 「具体的な体験を伴う学習やそれに基づく表現活動、言語活動の充実等」の視点
- (9) 「内容の配列や授業時数の配分」の視点
- (10) 「内容の枠組み等の整理」の視点

第2 社会科における学習指導と評価

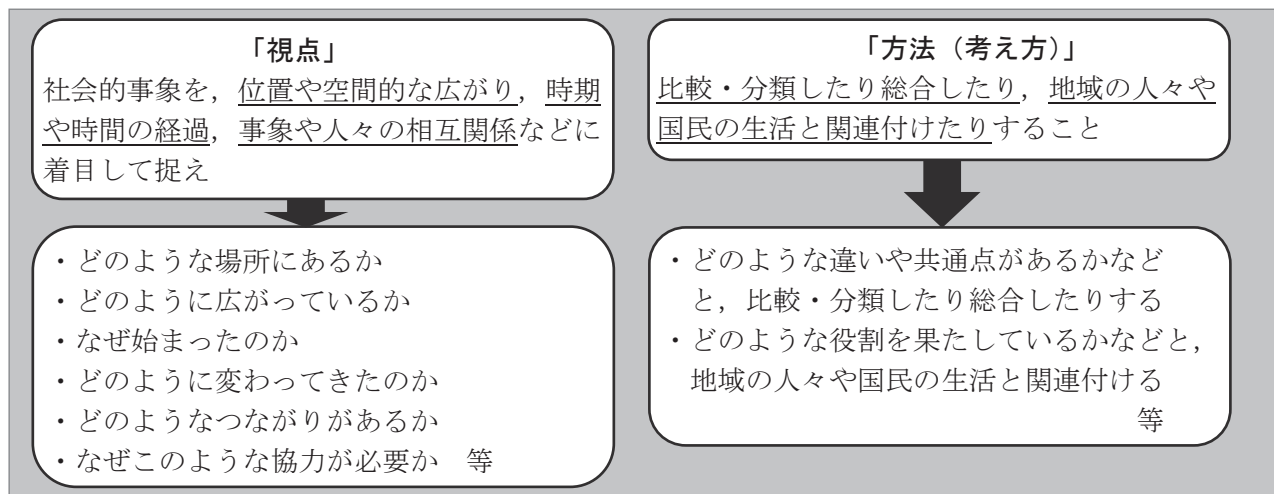
1 育成を目指す資質・能力の三つの柱について

社会科において育成する資質・能力を「社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎」とするとともに、その具体的な内容を「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理している。

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
教科の目標	地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。	社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

2 「社会的事象の見方・考え方」を働かせる指導のポイントについて

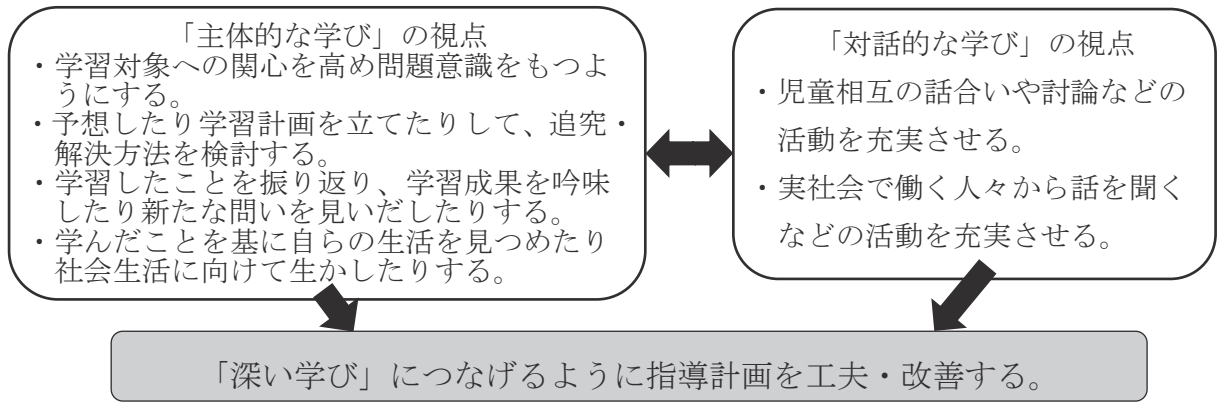
「社会的事象の見方・考え方」とは、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を考察したり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて構想したりする際の「視点や方法（考え方）」である。



「社会的事象の見方・考え方」を働かせ、調べ考え表現する授業を実現するためには、教師の教材研究に基づく学習問題の設定や発問の構成、地図や年表、統計など各種の資料の選定や効果的な活用、学んだ事象相互の関係を整理する活動などを工夫することが大切である。

3 社会科における「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善について

社会科の指導に当たっては、(1)「知識及び技能」が習得されること、(2)「思考力、判断力、表現力等」を育成すること、(3)「学びに向かう力、人間性等」を涵養することが偏りなく実現されるよう、単元など内容や時間のまとまりを見通しながら、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うことが重要である。



児童の実態や教材の特性を考慮して学習過程を工夫し、児童が社会的事象の見方・考え方を働かせ、主として用語・語句などを含めた具体的な事実に関する知識を習得することにとどまらず、それらを踏まえて社会的事象の特色や意味など社会の中で使うことのできる応用性や汎用性のある概念などに関する知識を獲得するよう、問題解決的な学習を展開することや、社会への関わり方を選択・判断する活動を重視することが大切である。

単元などにおける学習問題を設定し、その問題の解決に向けて諸資料や調査活動などで調べ、社会的事象の特色や相互の関連、意味を考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりして表現し、社会生活について理解したり、社会への関心を高めたりする学習。

◎主な学習過程の例

つかむ (課題把握)		調べる (課題追究)		まとめる (課題解決)	
意欲を高める	見通しをもつ	情報を集める	解決に向けて考える	問題を解決する	振り返る
<ul style="list-style-type: none"> ●学習問題を設定する ●社会的事象を知る ●自分との関わり気付く ●学習への意欲を高める ●学習問題を見いだす 	<ul style="list-style-type: none"> ●学習の見通しをもつ ●予想や仮説を立てる ●どうやって調べるかを話し合う ●自分の関わり方を考える ●学習計画を立てる 	<ul style="list-style-type: none"> ●学習問題の解決に向けて調べる ●観察や見学、聞き取りなどを通して調べる ●様々な資料を活用して調べる ●友達と情報を共有する 	<ul style="list-style-type: none"> ●社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を考える ●多角的に考える ●様々な立場や意見を踏まえて話し合う 	<ul style="list-style-type: none"> ●調べたことや考えたことをまとめる ●学習問題の結論をまとめる ●結論について学級で話し合う ●個人でレポートなどにまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ●学習を振り返る ●自分の学びや変容を自覚する <p>※学んだことを生かしたり、新たな問いを追究したり、選択・判断したりする</p>
社会的事象の見方・考え方を働かせて学習問題を追究・解決する					

4 新学習指導要領における内容の整理・改善・充実と留意点について

(1) 内容の変更点

- ・各学年の内容を、「地理的環境と人々の生活」、「歴史と人々の生活」、「現代社会の仕組みや働きと人々の生活」に分けて整理するとともに、「知識及び技能に関わる事項」と「思考力、判断力、表現力等に関わる事項」に分けて明確化した。
- ・世界の国々との関わりや政治、少子高齢化や情報化等に伴う生活や産業の変化など、将来につながる現代的な諸課題を踏まえた教育内容の見直しを図った。

(2) カリキュラム・マネジメントの視点

- ・各学年の「内容の取扱い」には内容の指導における配慮事項が示されている。ここでは、各学年の内容に関わって取り上げる事例の配列や事例を取り上げる授業時間数の配分等についての配慮が示されている。これらの内容を踏まえ、効果的に指導することが大切である。

例 第3学年(3)地域の安全を守る働き (内容の取扱い)

(3) 内容の(3)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア アの(ア)の「緊急時に対処する体制をとっていること」と「防止に努めていること」については、火災と事故はいずれも取り上げること。その際、どちらかに重点を置くなど効果的な指導を工夫すること。

(3) 「選択・判断する」と「多角的に考える」内容の明示

- ・(2)と同様に、「内容の取扱い」には、「選択・判断する」と「多角的に考える」内容が位置付けられている。「内容の取扱い」に位置付けられている単元では、指導計画に積極的に反映させる。

例 第4学年(3)自然災害から人々を守る活動（内容の取扱い）
 (2) 内容の(3)については、次のとおり取り扱うものとする。
 ウ イの(ア)については、地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること。

(4) 地図帳を扱う場面の明示

- ・地図帳への親しみをもたせ、問題解決のための資料として活用する技能や意欲を育てるようになるために、「内容の取扱い」に地図帳を扱う場面が明示されている。折に触れ、継続的に地図帳の活用の仕方などについて指導する。

例 第3学年(1)身近な地域や市区町村の様子（内容の取扱い）
 (1) 内容の(1)については、次のとおり取り扱うものとする。
 イ アの(イ)については、「白地図などにまとめる」際に、教科用図書「地図」（以下第2章第2節において「地図帳」という。）を参照し、方位や主な地図記号について扱うこと。

(5) 我が国の領土に関する学習の留意点

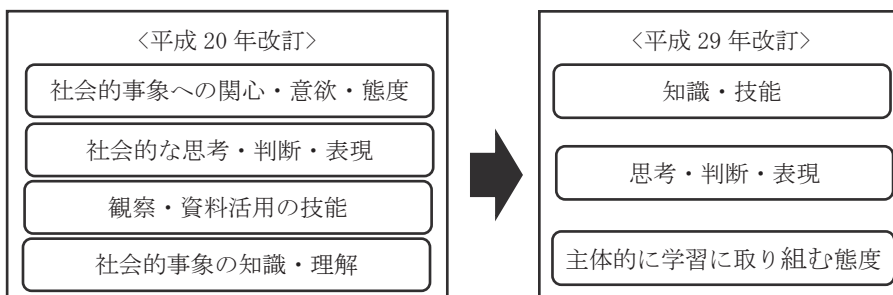
- ・第5学年の内容(1)の「内容の取扱い ア」『領土の範囲』については、「竹島や北方領土、尖閣諸島が我が国の固有の領土であることに触れること。」等に留意する。

(6) 博学連携や地域素材（人材、博物館などの公共施設を含む）の教材化とその効果的な活用の留意点

- ・「内容の取扱いについての配慮事項」(3)のとおり、地域にある教育的な施設の活用を図るとともに、調査活動を取り入れたり地域の人材を積極的に活用したりすることなどに留意する。

5 評価の改善点について

平成29年改訂で、学習指導要領の目標及び内容が資質・能力の三つの柱で再整理されたことを踏まえ、社会科の観点別学習状況の評価の観点については、右のように整理されている。



6 「主体的に学習に取り組む態度」の評価について ※ 詳細はP3参照

「主体的に学習に取り組む態度」については、「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」を身に付けることに向けて粘り強い取組を行おうとする側面と、粘り強い取組を行う中で自らの学習を調整しようとする側面について評価を行う。ここでは、学習過程に沿って、①社会的事象について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究・解決しようとしているか②よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしているかという学習状況を捉えるようにする。①の「予想や学習計画を立て」では、学習問題の追究・解決に向けて見通しをもとうとしている学習状況を捉えるようにし、「学習を振り返ったり見直したりして」では、問題解決に向けて自らの学習状況を確認したり、さらに調べたいことを考えようとしたりする学習状況を捉えるようにする。その際、単元によっては、「さらに調べたいことを考える場面」が設定されない場合も考えられるため、「振り返ったり見直したり」と示しているが、単元の学習活動に応じて適切に文言を選ぶことが評価規準を設定する上で大切である。②の「学習したことを社会生活に生かそうとする」では、それまでの学習成果を基に、生活の在り方やこれからの社会の発展について考えようとする学習状況を捉えるようにする。これは「社会的な態度」と捉えることができ、社会に見られる課題を把握して社会への関わり方を選択・判断したり、多角的に考えて社会の発展について自分の考えをまとめたりする学習場面で表出されることが多いことが考えられるため、「思考・判断・表現」との関連性を踏まえて評価規準を設定することが大切である。その際、単元によっては「選択・判断する場面」や「発展について考える場面」が設定されない場合もあることに留意し、単元の学習活動に応じて工夫することが大切である。

7 観点別学習状況の評価の観点について

評価規準の作成に当たっては、以下の「評価の観点及びその趣旨について」、「学年別の評価の観点の趣旨について」を参考にして「内容のまとめりごとの評価規準」と「学習活動に即した評価規準」を作成していくものとする。

(1) 評価の観点及びその趣旨について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解しているとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめている。	社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したり、考えたことや選択・判断したことを適切に表現したりしている。	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとしている。

(2) 学年別の評価の観点の趣旨について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第3学年	身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解しているとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめている。	地域における社会的事象の特色や相互の関連、意味を考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したり、考えたことや選択・判断したことを表現したりしている。	地域における社会的事象について、地域社会に対する誇りと愛情をもつ地域社会の将来の担い手として、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。
第4学年	自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解しているとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめている。	地域における社会的事象の特色や相互の関連、意味を考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したり、考えたことや選択・判断したことを表現したりしている。	地域における社会的事象について、地域社会に対する誇りと愛情をもつ地域社会の将来の担い手として、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。
第5学年	我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて、国民生活との関連を踏まえて理解しているとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめている。	我が国の国土や産業の様子に関する社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したり、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	我が国の国土や産業の様子に関する社会的事象について、我が国の国土に対する愛情をもち産業の発展を願う国家及び社会の将来の担い手として、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。
第6学年	我が国の政治の考え方と仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解しているとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめている。	我が国の政治と歴史及び国際理解に関する社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したり、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	我が国の政治と歴史及び国際理解に関する社会的事象について、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情をもち平和を願い世界の国々の人々と共に生きることを大切にする国家及び社会の将来の担い手として、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

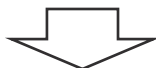
(3) 内容のまとめりごとの評価規準の作成手順について

ア 「内容のまとめり」と「評価の観点」との関係を整理

学習指導要領の「内容項目」から、「知識及び技能」に関する内容と、「思考力、判断力、表現力等」に関する内容を整理する。

※ 以下、第4学年「(2) 人々の健康や生活環境を支える事業」について、「くらしとごみ」の記述を例に評価規準の作成手順を示す。

学習指導要領 2 内容	知識及び技能 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 略 (イ) 廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解すること。 (ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめること。	思考力、判断力、表現力等 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 略 (イ) 処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、廃棄物の処理のための事業の様子を捉え、その事業が果たす役割を考え、表現すること。	学びに向かう力、人間性等 ※内容には、「学びに向かう力、人間性等」について示していないので、該当学年の目標(3)と観点の趣旨を参考にする。
-------------------	---	---	--



イ 評価規準の作成の際の【観点ごとのポイント】を確認する。

【観点ごとのポイント】

- ① 知識は、「2 内容」の知識に関わる事項に示された「・・・を理解すること」の記述を当てはめ、それを児童が「・・・を理解している」姿として評価規準を設定する。技能は、「・・・調べたりして、・・・まとめること」の記述を「・・・調べたりして、・・・まとめている」姿として評価規準を設定する。
- ② 思考・判断・表現は、「2 内容」の「思考力、判断力、表現力等」に関わる事項に示された「・・・着目して、・・・を捉え、・・・考え、・・・表現すること」の記述を当てはめ、それを児童が「・・・着目して、・・・を捉え、・・・考え、・・・表現している」姿として評価規準を設定する。
- ③ 主体的に学習に取り組む態度は、「2 内容」に「学びに向かう力、人間性等」に関わる事項が示されていないことから、学年目標や観点の趣旨を基に、「主体的に学習に取り組む態度」に関わる部分を用いて評価規準を設定する。



ウ 【観点ごとのポイント】を踏まえた「内容のまとめりごとの評価規準」作成例

※ 第4学年「(2) 人々の健康や生活環境を支える事業」の「くらしとごみ」の記述を例に作成したもの。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 略 ・ 廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。 ・ 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、<u>まとめている。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 略 ・ 処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、廃棄物の処理のための事業の様子を捉え、その事業が果たす役割を<u>考え、表現している。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人々の健康や生活環境を支える事業について、<u>主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。</u>

※ 下線部は、【観点ごとのポイント】を踏まえて、学習指導要領の「内容項目」の語尾を変えて作成した。

- (4) 単元（小単元）の評価規準の作成手順について
 以下の記述例と作成例を基に学習活動に即した評価規準を作成する。
 ※ 以下のA～Gの記号は、対応箇所を示している。

学習指導要領の記述例	評価規準の作成例		
(1) A （学習のテーマ）について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること (ア) B （知識）を理解すること (イ) C （調べる材料）などで調べて、 D （まとめ方）などにまとめること イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること (ア) E （調べる視点）などに着目して、 F （捉えさせたい事実）を捉え、 G （考えさせること）を考え、表現すること	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	① E などについて C などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、 F を理解している。 ② 調べたことを D や文などにまとめ、 B を理解している。	① E などに着目して、問いを見だし、 F について考え表現している。 ② ◇と△を（比較・関連付け、総合など）して G を考えたり、学習したことを基に社会への関わり方を選択・判断したりして、適切に表現している。	① A （に関する事項）について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ② 学習したことを基によりよい社会を考え、学習したことを社会生活に生かそうとしている。

第4学年 「飲料水、電気、ガスを供給する事業」における評価規準の作成例

□や下線部は対応箇所を示す。A太波線 B下線 C二重下線 D波線 E太線 F点線 G太破線

第4学年の内容 (2)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(2) A 人々の健康や生活環境を支える事業について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) A 飲料水、電気、ガスを供給する事業は、 B 安全で安定的に供給できるよう進められていることや、 <u>地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていること</u> を理解すること。 (イ) 省略 (ウ) C 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、 <u>まとめること</u> 。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) E 供給の仕組みや経路、 <u>県内外の人々の協力などに着目して、F飲料水、電気、ガスの供給のための事業の様子</u> を捉え、 G それらの事業が果たす役割を考え、表現すること。 (イ) 省略	① E 供給の仕組みや経路、 <u>県内外の人々の協力など</u> について C 見学・調査したり地図などの資料などで調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、 F 飲料水、電気、ガスの供給のための事業の様子を理解している。 ② 調べたことを D 白地図や図表、文などにまとめ、飲料水、電気、ガスを供給する事業は、 B 安全で安定的に供給できるように進められていることや、 <u>地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていること</u> を理解している。	① E 供給の仕組みや経路、 <u>県内外の人々の協力などに</u> 着目して、問いを見だし、 F 飲料水、電気、ガスの供給のための事業の様子について考え表現している。 ② 飲料水、電気、ガスの供給のための事業に見られる仕組みや人々の協力関係と地域の人々の健康や生活環境を関連付けてG飲料水、電気、ガスの供給のための事業が果たす役割を考えたり、 学習したことを基に、節水や節電など自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして、適切に表現している。 	① A 飲料水、電気、ガスを供給する事業について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ② 学習したことを基に、節水や節電などについて自分たちが協力できることを考えようとしている。

※ □は、内容の取り扱いの記載事項、Dと太字は、解説の記載事項から作成

(5) 単元(小単元)の評価規準例

【第3学年「地域に見られる生産の仕事」の例】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、生産に携わっている人々の仕事の様子を理解している。</p> <p>②調べたことを白地図などにまとめ、生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解している。</p>	<p>①仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、問いを見だし、生産に携わっている人々の仕事の様子について考え表現している。</p> <p>②生産の仕事の様子と地域の人々の生活を関連付けたり総合したりして、地域に見られる生産の仕事と地域の人々の生活との関連を考え、表現している。</p>	<p>①地域に見られる生産の仕事について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</p>

【第4学年「国際交流で特色ある地域」の例】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①国際交流を進めている地域の位置や環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係、国旗などについて地図帳や各種の資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、地域の様子を理解している。</p> <p>②調べたことを白地図などにまとめ、国際交流を進めている地域は、特色あるまちづくりや観光などの発展に努めていることを理解している。</p>	<p>①国際交流を進めている地域の位置や環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、問いを見だし、地域の様子について考え表現している。</p> <p>②国際交流を進めている地域の取組や経緯、人々の協力の様子について、関連付けたり総合したりして地域の特色を考え、表現している。</p>	<p>①国際交流を進めている地域について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し解決しようとしている。</p>

【第6学年「日中戦争や我が国に関わる第二次大戦、日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催」の例】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などを理解している。</p> <p>②調べたことを年表や文などにまとめ、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解している。</p>	<p>①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見だし、日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などについて考え表現している。</p> <p>②日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などを関連付けたり総合したりして、我が国の政治や国民生活が大きく変わったことや、我が国が国際社会において果たしてきた役割を考えたり、学習してきたことを基に、歴史を学ぶ意味について考えたりして、適切に表現している。</p>	<p>①日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などについて、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>②学習してきたことを基に<u>過去の出来事と今日の自分たちの生活や社会との関連や、歴史から学んだことをどのように生かしていくかなど国家及び社会の発展を考えようとしている。</u></p>

※ _____ は、解説の記載事項を基に作成

「よりよい社会を考え、学習したことを社会生活に生かそうとしている姿」については、「内容の取扱い」や解説の記載事項を基に作成する。